

令和6年度に向けた利活用等の管理運営の方向性について

岩手県立高田松原津波復興祈念公園

令和4年度（1年目）【土壌づくり】

指定管理初年度ということで、管理運営の土台づくりに重点を置いた。

- ・ 関係各所との信頼関係を構築しつつ、公園の賑わいづくりに着手。
- ・ 芝生管理など、公園のベーシックな部分に大きな課題。
 - 管理基準は、「復興の象徴となる公園」としてふさわしいか？
 - 直営作業に時間と労力を費やし、ソフト部分に手を掛けることができない。

令和5年度（2年目）【種まき】

2年目は、内向き（体制づくり）から外向き（関係づくり）へ重心をシフト。

- ・ 協働グループに加え、県内の大学や周辺施設と連携してイベントを開催し協力関係を構築。
- ・ 公園ホームページやSNSを活用して公園の多彩な魅力を発信。
- ・ 有料公園施設（会議室）の認知拡大と利便向上に向けての取り組みを展開。
- ・ ハード面の課題へ可能な限り対応。現状を報告するとともに、是正に向けて県と協議。

令和6年度（3年目）【発芽・成長】

3年間の総まとめとして、未来につながる持続可能な公園運営の型づくりを目指す。

1) 利用促進

①追悼・鎮魂イベントの実施

3月11日に合わせ、防潮堤ライトアップ等の追悼・鎮魂イベントを地域の協力団体等と連携して実施する。

②協働グループの活動定着

活動日、活動場所等の利用調整、物品の保管、資材の貸出、安全管理の確認等の活動支援を行い、公園をフィールドとするグループの活動の定着を図る。

2) 利用サービス向上

①ウォーキング・ジョギングコースの設定

公園ホームページでコースを紹介するとともに、県と協議の上、防潮堤等、利用者の多いコースに距離標等を設置する。

②セルフガイドの充実

県の設置した解説サイン等を活用し、セルフガイドによる散策ルートを設定し、ホームページ等で情報提供を行う。

③持込イベントの誘致

持込イベントは、民間事業者からの相談窓口を設け、公園構成施設との調整及び、県と協議を行った上で、積極的に受け入れを行う。

3) 公園施設の管理

①排水不良箇所の改善

降雨の度に園路が冠水する課題について、手掘りの排水路を掘るなど改善を試みるほか、県と連携して対応策を検討する。

②植物管理

芝刈りは、一部ラジコン芝刈り機を導入し、省力化・効率化を図るとともに、管理基準に則り、適宜刈込を行う。また、管理基準に含まれない分についても、利用の支障となる箇所については、可能な限り対応する。

引き続き、状況をこまめに県に報告し、「復興の象徴となる公園」として持続的に維持管理可能な管理基準の設定に協力する。

③有料公園施設の利用促進

会議室の認知拡大、利用率向上を目指し、利用案内チラシの作成および市内への配布等を検討する。

また、公衆無線 LAN（フリーWi-Fi）の導入について、引き続き県と協議を行う。

4) 環境への配慮

①積極的な情報提供

ハマエンドウ等の海浜植物や、古川沼の水鳥等の園内の動植物について、ホームページや SNS で情報提供を行う。

②水生植物プールの管理

下宿定住促進住宅の水生植物プールについて、岩手県立大学と連携し観察会と合わせた除草作業を行うなど、ミズアオイの開花する環境維持に努める。

5) 自主事業

①イベントの定例化

既に協力関係にある岩手医科大学や市立博物館等の関係機関との連携を密にし、8月のカニ観察会や、12月の野鳥観察会の定例化を目指す。

②コンセプトブックの販売

県の作成した「コンセプトブック」の自主事業での印刷・製本・販売を検討する。